

視察報告書

1 視察日

令和7年10月7日から10月8日まで

2 視察先

- ・10月7日(火)：三豊市立高瀬中学校 夜間学級(香川県三豊市)
- ・10月8日(水)：バイオマス資源化センターみとよ(香川県三豊市)

3 調査項目

- ・公立夜間中学校について
- ・バイオマス資源化センターみとよ環境にやさしいゴミ処理方法について

4 視察参加者(2名)

根岸 裕美子、佐野太一

5 視察行程

別紙のとおり

6 視察報告

別紙のとおり

上記のとおり報告します。

取手市議会議長 山野井 隆 殿

令和7年11月5日

取手市議会無会派クラブ 代表者 根岸 裕美子

行政視察報告書

取手市議会議員 根岸裕美子（無党派クラブ代表）

1 視察日

令和7年10月7日から10月8日まで

2 視察先

- (1) 10月7日（火）：三豊市立高瀬中学校 夜間学級（香川県三豊市）
- (2) 10月8日（水）：バイオマス資源化センターみとよ（香川県三豊市）

3 調査項目

- (1) 公立夜間中学校について
- (2) バイオマス資源化センターみとよにおける環境にやさしいゴミ処理方法について

4 視察内容

(1) 三豊市立高瀬中学校 夜間学級

三豊市では、義務教育未修了者や学び直しを希望する市民に対し、夜間中学を開設し、教育機会の保障を進めています。今回の視察では、運営体制、対象者の実態、学習支援の方法等について調査しました。

全国的に義務教育未修了者への支援が課題となる中、三豊市は、学びの多様化学校を同時に令和4年度より開設、先進的な取り組みとして、注目されています。昨今の公立夜間中学校の傾向として、外国籍住民が多くを占める中、高瀬中学校では学齢期生徒の割合が増加しているとのこと。一人一人の状況に合わせて学びを提供しており、生徒の変化や学習意欲の向上に、教員一同やりがいを感じる一方、さらに受け入れを増やすには財源確保、教員確保が課題とのことでした。

三豊市の不登校児童生徒の割合は取手市とほぼ変わらず、不登校児童生徒の学びの場として、ぜひわが市でも「学びの多様化学校」開設を望みますが、教員不足、インフラ整備等、課題は大きく、実現はなかなか困難であるというのが実感です。

(2) バイオマス資源化センターみとよ

(株)エコマスターは、廃棄物の再資源化や環境負荷低減に取り組む企業であり、自治体との連携による資源循環モデルの構築を進めています。今回の視察では、技術的な取り組み、自治体との協働事例、地域住民への啓発活動について調査しました。

焼却しないゴミ処理「好気性発酵乾燥方式」の説明と施設見学をさせていただきました。驚くほどの低コストと環境負荷が低いことを知り、今後のゴミ処理方法の主流となって欲しいと強く感じました。微生物の力を利用し、また生態系を利用した施設管理には驚かされるばかりでした。

折しも、常総環境センターの現在の炉をどう更新していくかの議論が始まっているところですが、ぜひとも、(株)エコマスター社の技術を認識し、更新する際の検討に入れていただきたいと思ひます。

以上